

会と話し合いの場を持ち続け、どのような点を改善していたらよいか意見をもち寄っていただき、対応していきたい。

●民生費

**保育園待機児童の状況**

**問** 低年齢児の待機児童の数が多いた問題となっていた時期があったが、現在はどのような状況にあるのか。

**答** 低年齢児受入れ増を図ってきたので、18年度当初には待機児童をなくすことができた。また北部保育園での受入れ開始により、待機児童の数は減っているものの、臨時保育士の確保が困難であるため、ゼロにはなっていない。

●衛生費

**資源物分別回収**

**問** 資源物の分別が分かりにくいことが多いが、この対応はいかがか。

**答** 市民の皆さんに、全戸配布でごみ出しの区分表をお配りしている。また、ステーションにプラスチック製の表示物を掲示したりも

している。新たな取り組みとして、ごみの出し方に関するビデオを作製し、いろいろな場面で市民の皆さんへの啓発活動に役立てていきたいと考えている。

●農林水産業費

**原油価格高騰緊急対策事業**

**問** 原油価格高騰緊急対策事業費補助金の効果と実績はどのようなか。また、その他の省エネ対策の具体的な内容を伺う。

**答** この補助金により6%程度の省エネ効果があったと考えており、申請する農業者数も増えている。また、加温する必要のない品種の導入にも力を入れており、必要があれば、市からの助成も行っていきたいと考えている。

●商工費

**くらふとフェア開催**

**問** くらふとフェア開催の効果、反省点をどのようにとらえているか。

**答** 市内外から1万3千人の来場者があった。海を目前にした開催地は全国でも珍しく、また、ものづくりのおもしろさ、楽しさを感じていただき好評であった。JR蒲郡駅からのアクセス、出展者テントの配置等に不便があったので、これらを再検討していきたい。

●土木費

**豊岡大塚線の進捗状況**

**問** 豊岡大塚線は地域の活性化、渋滞の解消等非常に重要な路線であると認識しているが、事業が遅々として

て進んでいない。現時点での交渉状況はどのようなか。

**答** トンネル建設等に多額の費用を要するので、市単独では対応できない。県道昇格を目指し、御津町に早期にルート決定、都市計画決定をしてもらえよう継続してお願いしている。

●消防費

**ハザードマップの活用**

**問** 各戸配布されたハザードマップは、その後、活用されているのか。

**答** 6月にマップ監修者の防災講演会を開催し、総代常会長などに利活用法を講義していただいた。自主防災会、地域住民にも指導していただけるものと考えている。また出前講座などでもマップの活用をPRしている。

●教育費

**特別支援教育指導補助員**

**問** 特別支援教育指導の現状はどうか。また補助員にどのような研修を行っているか。

**答** 補助員を増員していただき、適性学級だけでなく

通常学級に在籍の軽度発達障害児にも対応できるようになり始めた。

個々の子どもへの実際の対応を学べるように、各学校の適性学級の先生の話を聞き、交流を深めるなど現実に即した研修を行っている。

■歳入

**滞納繰越への対応**

**問** 市税、国保税合わせて21億円を超える滞納がある。どのように対応していくのか。

**答** 昨年度から市職員の部長職の市外臨戸、管理職の夜間臨戸を始めた。今後も収納率の向上に努めていきたい。

